

図書館サービス計画の令和4年度事業計画の結果

成田市立図書館

評価 A 達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある。 B 達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである。C 達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある。D 未実施。E: 方向転換。

通番		検討する事項	取組内容	2022( R4) 実施目標	2022( R4) 達成基準	結果	評価	次年度以降の計画の修正等について
1-1-1	1 的・ な サ ー ビ ス の 基 本	蔵書の構築	幅広い情報を、多様なメディアで収集します。 蔵書構成や書架の全体的な見直しを検討します。 視聴覚資料の積極的な収集に努めます。 展示等により、資料紹介を行います。	継続実施	・ サービス計画に沿い蔵書構成グループを見直す。	蔵書構成グループの名称を、現状のサービスの内容に沿うように改め、1班、2班、3班をそれぞれビジネス・法情報グループ、医療・健康グループ、多文化・行政グループとし、雑誌グループを逐次刊行物グループとした。	B	
1-1-2	1 ・ サ ー ビ ス の 基 本 的 な	蔵書の構築	幅広い情報を、多様なメディアで収集します。 蔵書構成や書架の全体的な見直しを検討します。 視聴覚資料の積極的な収集に努めます。 展示等により、資料紹介を行います。	継続実施	・ 図書、雑誌、AV、電子書籍、DBの選定をする。 ※DBの詳細は、第4章3.(2)【ビジネス支援】(3)【法情報】に記載	※11月末現在 受入冊数 図書：24,447点 雑誌：5,250点 AV：171点 電子書籍 図書：463点 雑誌：4,437タイトル ※DBの詳細は、第4章3.(2)【ビジネス支援】(3)【法情報】に記載。	B	電子書籍資料の購入点数を増やし、利用者層を広げていく。
1-1-3	1 的・ な サ ー ビ ス の 基 本	蔵書の構築	幅広い情報を、多様なメディアで収集します。 蔵書構成や書架の全体的な見直しを検討します。 視聴覚資料の積極的な収集に努めます。 展示等により、資料紹介を行います。	継続実施	・ 展示を行う(本館：一般、児童展示各6回以上、公津の杜分館：一般、児童展示各12回以上)	※11月末現在 本館展示 一般：5回 児童：5回 その他展示：21回 公津の杜展示 一般：8回 児童：7回	B	
1-1-4	1 ・ な サ ー ビ ス の 基 本 的	蔵書の構築	幅広い情報を、多様なメディアで収集します。 蔵書構成や書架の全体的な見直しを検討します。 視聴覚資料の積極的な収集に努めます。 展示等により、資料紹介を行います。	継続実施	・ 電子書籍の収集方針を改正する。	取り組めていない。	D	2023( R5) 年度に、作成担当を決め、課題点を整理し、改訂案をまとめ、資料部会に提案する。
1-2-1	1 的・ な サ ー ビ ス の 基 本	貸出・レファレンス等のサービス提供	貸出・閲覧サービスを継続して実施します。 レファレンスサービスを継続して実施します。	継続実施	・ 貸出・閲覧サービス・レファレンスサービスを継続実施する。	・ 貸出・閲覧サービス・レファレンスサービスを継続して行った。 ※11月末現在 貸出累計709,479点(88,684/月) ・ レファレンス累計14,927点(1,865/月)	B	
1-3-1	1 ・ 図 書 館 の 基 本 的 な サ ー ビ	利用促進	広報活動等により利用促進を図ります。	継続実施	・ 広報なりに、図書館講座、おはなし会の広報及び読書週間に合わせ図書館利用促進特集を掲載する。	【広報なりた】図書館講座や映画会、おはなし会等のイベント情報の掲載を行った。 6月15日号：成田の舞台裏「市立図書館 ずらりと並ぶ100万点以上の資料」 10月15日号：読書週間特集記事「デジタル資料を上手に活用」が掲載された。 【その他】 成田市立図書館紹介記事：「ぴーぽっぶ」6月号特集記事「梅雨でも楽しめる！成田周辺おすすめスポット」	B	

図書館サービス計画の令和4年度事業計画の結果

成田市立図書館

評価 A 達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある。 B 達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである。C 達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある。D 未実施。E: 方向転換。

通番		検討する事項	取組内容	2022( R4) 実施目標	2022( R4) 達成基準	結果	評価	次年度以降の計画の修正等について
1-3-2	1 ・ 図書館の基本的な	利用促進	広報活動等により利用促進を図ります。	継続実施	・電子書籍の利用促進のPRを行う。	9/7雑誌電子版の導入にあわせ、8/31各社報道機関へプレスリリース、同時に館内ポスター掲示と図書館ホームページへ案内を掲載した。	B	来館者に向けて、館内に新着案内等の広報を行う。
2-( 1) 1-1	乳2 幼・ 護児( 1) 者・ 保	おはなしかい	今後も実施を継続します。回数、曜日、時間等について、必要に応じて検討します。	継続実施( おはなしかい) 先進図書館の調査を行う。成功事例の調査研究を行う。	・おはなしかいを継続実施する。	本館及び公津の杜分館で、おはなしかいを継続的に実施した。	B	
2-( 1) 1-2	乳2 幼・ 護児( 1) 者・ 保	おはなしかい	今後も実施を継続します。回数、曜日、時間等について、必要に応じて検討します。	継続実施( おはなしかい) 先進図書館の調査を行う。成功事例の調査研究を行う。	・先進図書館の調査について継続し、12月までに中間報告を行う。	おはなし会を実施している図書館について、5館の事例を調査し、結果をまとめた。さらに調査事例を増やし、2023( R5) 年度に調査結果を報告する。	B	
2-( 1) 2-1	幼( 1) 護児 2 者・ 保乳	ブックリスト 配布	今後も配布を継続します。配布場所については追加を検討します。	継続実施	・ブックリスト「あかちゃんも絵本が大好き」「絵本が大好き- 2、3歳- 」「絵本が大好き- 4、5歳- 」の配布を継続実施する。	乳幼児向けのブックリストの配布を継続的に実施した。	B	
2-( 1) 3-1	乳2 幼・ 護児( 1) 者・ 保	ブックスタート 事業	絵本の配布を検討します。	実施準備	・事業概要や概算見積もりと共にローリングに計上する。	2022( R4) 年度に事業概要、概算見積もりと共にローリングへの計上を実施した。	A	2022( R4) 年度ローリング計上、2023( R5) 年度予算査定、2024( R6) 年度事業開始の予定であったが、2023( R5) 年度事業開始となったため、以後の計画は前倒しとなる。
2-( 1) 3-2	乳2 幼・ 護児( 1) 者・ 保	ブックスタート 事業	赤ちゃん相談絵本読み聞かせ事業を継続し、運営主体や方法について、検討します。	継続実施 運営主体や方法について検討する。	・赤ちゃん相談絵本読み聞かせを継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、2020( R2) 年2月から赤ちゃん相談絵本読み聞かせ事業を休止していたが、2022( R4) 年8月から再開した。	B	
2-( 1) 3-3	乳2 幼・ 護児( 1) 者・ 保	ブックスタート 事業	赤ちゃん相談絵本読み聞かせ事業を継続し、運営主体や方法について、検討します。	継続実施 運営主体や方法について検討する。	・他自治体での類似の事業について、現在の運営方法を調査し、報告書をまとめる。	主に4か月児を対象とした健康診査の会場でブックスタート等事業を実施している県内13自治体に対して電話調査を実施し、結果をまとめた。	B	
2-( 1) 4-1	幼2 児・ 保( 1) 護者乳	セカンドブック	実施に向けて検討します。	運営主体や方法について検討する。 先進図書館の調査、関係機関との調整を行い実施を検討する( R3)	・前年度に引き続き、先進図書館の事業の調査を行い、12月までに報告書をまとめる。	県内において早期に事業を開始し、かつ図書館設置自治体である2市を対象として調査を実施した。	C	ブックスタート開始後、追加調査を行う。
2-( 1) 5-1	幼( 1) 護児 2 者・ 保乳	館内託児サービス	実施に向けて検討します。	先進図書館の調査を行う。	・先進図書館の調査について継続し、12月までに中間報告を行う。	館内託児サービスについて、9館の事例を調査し、結果をまとめた。	B	
2-( 1) 6-1	幼( 1) 護児 2 者・ 保乳	子育て支援コーナー等の設置	「出産」「育児」「家計」等、子育てに関わる資料の児童コーナー隣接を検討します。	先進図書館の調査を行う。	・先進図書館の調査について継続し、12月までに中間報告を行う。	子育て支援コーナーの設置について、6館の事例を調査し、結果をまとめた。	B	
2-( 1) 6-2	幼2 児・ 保( 1) 護者乳	子育て支援コーナー等の設置	国や市の制度、相談窓口、関係各課のリーフレットやイベントの案内等を集約した情報提供の実施を検討します。	( 2年間計画/2年目) 先進図書館の事例調査研究を行う。庁内関係各課、外部の関連機関の情報について調査を行う。	・先進図書館の調査について継続し、12月までに中間報告を行う。	子育て支援コーナーの設置について、6館の事例を調査し、結果をまとめた。	C	調査が不十分なところを追加調査する。
2-( 1) 7-1	幼2 児・ 保( 1) 護者乳	幼稚園、保育園等への団体貸出	申し出のあった市内幼稚園、保育園への団体貸出の実施を継続します。	継続実施 運用規定の課題を整理する。	・団体貸出を継続実施する。	市内の幼稚園・保育園に団体貸出を継続して行った。 ※2022年12月7日調査 利用団体：小規模保育事業所( 私立) 2園 貸出冊数：44冊	B	利用可能団体へのサービスの周知に課題が見つかったため、次年度以降課題解決に向けた取り組みについて検討を行う。

図書館サービス計画の令和4年度事業計画の結果

成田市立図書館

評価 A 達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある。 B 達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである。 C 達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある。 D 未実施。 E 方向転換。

通番		検討する事項	取組内容	2022( R4) 実施目標	2022( R4) 達成基準	結果	評価	次年度以降の計画の修正等について
2-( 1) 7-2	幼 護 児 1 2 者 ・ 保 乳	幼稚園、保育園等への団体貸出	申し出のあった市内幼稚園、保育園への団体貸出の実施を継続します。	継続実施 運用規定の課題を整理する。	・現在の運用規定について課題を整理し、12月までに報告書をまとめる。	作業の大幅な遅れにより、12月までに現在の運用について整理することができなかった。	D	2023( R5) 年度に課題点を整理し、報告書を作成する。
2-( 1) 7-3	乳 幼 児 2 者 ・ 保 1	幼稚園、保育園等への団体貸出	今後は、申込書の送付等、図書館からの働きかけを検討し、園等での読書活動を支援します。	( 2年間計画/1年目) 市内の園等での読書活動の実態調査を行う。	7月末までにアンケート 素案を作る。9月中旬までに起案し、年度末までにアンケートを完成させる。	作業の大幅な遅れにより、12月末の時点で素案が完成していない状態。作業を継続し、年度末までに素案の作成及び起案を行う見込み。	D	2024( R6) 年度にアンケートを送付、実施をずらす。
2-( 2) 1-1	2 ・ ( 2) 小 学 生 ・ 中 学 生	ブックリスト 配布	今後も全校への実施を継続します。	継続実施	・ブックリスト「ばんざいいちねんせい2022」「いいほんみつけた1,2ねんせい2022」「いいほんみつけた3,4年生2022」「いいほんみつけた5,6年生2022」「いいほんみつけた中学生2022」の配布を継続実施する。	「ばんざいいちねんせい2022」、「いいほんみつけた2022」について配布を継続した。 【配布実績】 ・「ばんざいいちねんせい2022」対象児童1,037名、学校配布数 計1,168部 ・「いいほんみつけた1,2ねんせい2022」対象児童2,103名、学校配布数 計2,290部 ・「いいほんみつけた3,4年生2022」対象児童2,297名、学校配布数 計2,510部 ・「いいほんみつけた5,6年生2022」対象児童2,461名、学校配布数 計2,695部 ・「いいほんみつけた中学生2022」対象生徒3,532名、学校配布数 計3,705部	B	
2-( 2) 2-1	学 2 生 ・ ( 2) 中 学 生 小	中学生向け書架整備	今後も実施を継続します。	「いい本みつけた!中学生」書架(じどうYA)について、利用状況を調査する。	・「いい本みつけた!中学生」書架(じどうYA)について、毎月末に統計を抽出して利用状況の調査を行い、12月までに報告書をまとめる。	「排架区分:じどうYA」の資料について、毎月貸出統計を抽出し、年代別、利用者の生徒種別、分類別、それぞれの貸出冊数を割り出し、結果をまとめた。	B	
2-( 2) 3-1	学 2 生 ・ ( 2) 中 小	資料展示	今後も実施を継続します。 展示テーマの頻度については検討します。	継続実施	・2か月に一度の常設展示と、季節や行事に応じた展示を継続実施する。	4月から12月までに常設展示5回、季節展示12回を実施した(12月下旬実施予定を含む)。	B	
2-( 2) 3-2	学 2 生 ・ ( 2) 中 小	資料展示	今後も実施を継続します。 展示テーマの頻度については検討します。	継続実施	・各展示の利用状況について、展示入替時に統計を抽出して調査を行い、12月までに報告書をまとめる。	各展示の資料について、貸出統計を抽出し、利用状況についてまとめた。	B	
2-( 2) 4-1	学 2 生 ・ ( 2) 中 小	おはなしかい	今後も実施を継続します。 子どもたちの参加意欲促進に努めます。	継続実施	・土曜日のおはなしかい、季節のおはなしかい等を継続実施する。	本館及び公津の杜分館で、おはなしかいを継続的に実施した。	B	
2-( 2) 5-1	学 2 生 ・ ( 2) 中 小	イベント、講座	今後も実施を継続します。	継続実施	・科学あそび講座等の児童向け講座を継続実施する。	7月28日(木)に科学あそび講座を実施し、午前の部25名、午後の部30名の参加があった。	B	
2-( 2) 5-2	学 2 生 ・ ( 2) 中 小	イベント、講座	中学生向けの図書館講座について、調査研究を行い、実施を検討します。	中学生向け講座の事例研究を行う。	・他自治体図書館における中学生向け講座について、調査を行う。	中学生向けの講座について、7館の事例を調査した。	B	
2-( 2) 5-3	学 2 生 ・ ( 2) 中 小	イベント、講座	中学生向けの図書館講座について、調査研究を行い、実施を検討します。	中学生向け講座の事例研究を行う。	・来年度の実施検討段階に向けて、3月末までに調査結果をまとめる。	2-( 2) 5-2の調査内容をもとに、3月末までに調査結果をまとめる見込みである。	C	追加調査を行い、2023( R5) 年度以降、他の講座と調整しながら、実施に向けて検討する。
2-( 2) 6-1	学 2 生 ・ ( 2) 中 学 生 小	学校訪問おはなし会	今後もボランティアと協力し実施を継続します。	継続実施 職員及びボランティアの研修(読み聞かせ・素話)を実施する。	・学校の依頼を受けて訪問おはなし会を継続実施する。	2022( R4) 年度は、市立小学校及び義務教育学校21校中12校から申込があった。 12月末までに11校81学級2,092名(授業時数74校時、訪問日数28日)を実施した。	B	申込数が減少しているが、新型コロナウイルスの影響が考えられるため、実施方法について検討を行う。

図書館サービス計画の令和4年度事業計画の結果

成田市立図書館

評価 A 達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある。 B 達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである。C 達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある。D 未実施。E: 方向転換。

通番		検討する事項	取組内容	2022( R4) 実施目標	2022( R4) 達成基準	結果	評価	次年度以降の計画の修正等について
2-( 2) 6-2	学 2 生・ ( 中 2) 学 生 小	学校訪問おはなし会	今後もボランティアと協力し実施を継続します。	継続実施 職員及びボランティアの 研修( 読み聞かせ・ 素 話) を実施する。	・ 事業を行う 職員及びボランティアのスキルアップ のため、研修を実施する。	2022( R4) 年度は年4回の研修を予定し ており、12月までに3回実施、受講者は のべ37名である。 第4回は、2023( R5) 年2月に実施を予 定している。	B	
2-( 2) 6-3	学 生 2 2 生・ 中 小 学	学校訪問おはなし会	回数や実施方法について検討します。	ボランティアが主体とな るような実施方法を検討 する。	・ 先進図書館の調査について継続し、12月までに中 間報告を行う。	学校訪問おはなし会について、5館の事 例を調査した。一部追加調査を実施 し、12月中に報告をまとめる見込みで ある。	C	遅延しているが、2022( R4) 年3月まで に作業終了の見込み。
2-( 2) 7-1	学 生 2 2 生・ 中 小 学	読み聞かせボランティア の養成	今後も実施を継続します。	継続実施	・ 読み聞かせを行っている市民を対象とした「 絵本 の読み聞かせ講座」を実施し、ボランティアの養成 を行う。	6月3日( 金)と6月10日( 金)に連続2 回講座として開催し、両日とも11名の 参加があった。	B	
2-( 2) 8-1	2 ・ ( 中 2) 学 生 小 学 生 ・	町探検の受入れ	今後も実施を継続します。	継続実施 町探検( 小学2年生)に合 わせた図書館紹介パンフ レットの作成等、内容の 充実について検討する。 非来館でも図書館につ いてPRする方法について調 査する。	・ 町探検の受入れを継続実施する。	本館では3校29名、公津の杜分館では1 校12名の町探検による施設見学を受入 した。	B	新型コロナウイルスの状況を見ながら、 実施方法についても検討する。
2-( 2) 8-2	2 ・ ( 中 2) 学 生 小 学 生 ・	町探検の受入れ	今後も実施を継続します。	継続実施 町探検( 小学2年生)に合 わせた図書館紹介パンフ レットの作成等、内容の 充実について検討する。 非来館でも図書館につ いてPRする方法について調 査する。	・ 町探検( 小学2年生)における配布資料「 なりたし りつとしょ かんごあんない」について、写真を掲載 する等、内容を改訂する。	町探検の案内の際に説明する事項に合 わせて掲載内容を変更し、文字のレイ アウト変更を行った。 掲載する画像を選定、吟味して年度内 に改訂作業を完了する見込みである。	C	遅延しているが、2022( R4) 年3月まで に作業終了の見込み。
2-( 2) 8-3	2 ・ ( 中 2) 学 生 小 学 生 ・	町探検の受入れ	今後も実施を継続します。	継続実施 町探検( 小学2年生)に合 わせた図書館紹介パンフ レットの作成等、内容の 充実について検討する。 非来館でも図書館につ いてPRする方法について調 査する。	・ 先進図書館の調査について継続し、12月までに中 間報告を行う。	町探検及び図書館見学の受入れにつ いて、5館の事例を調査し、結果をまとめ た。	C	遅延しているが、2022( R4) 年3月まで に作業終了の見込み。
2-( 2) 9-1	2 生・ ( 中 2) 学 生 小 学	職場体験の受入れ	今後も実施を継続します。	継続実施 職場体験( 小学校6年生・ 中学2年生)に合わせた図 書館・ 司書業務紹介パン フレットの作成等、内容 の充実について検討す る。	・ 職場体験の受入れを継続実施する。	学校に対して職場体験学習の受入を実 施する旨を案内したが、申込がなかつ たため未実施となっている。	B	新型コロナウイルスの状況を見ながら、 実施方法についても検討する。
2-( 2) 9-2	2 生・ ( 中 2) 学 生 小 学	職場体験の受入れ	今後も実施を継続します。	継続実施 職場体験( 小学校6年生・ 中学2年生)に合わせた図 書館・ 司書業務紹介パン フレットの作成等、内容 の充実について検討す る。	・ 先進図書館の調査について継続し、12月までに中 間報告を行う。	学校からの依頼による職場体験の他 に、子ども 司書養成講座等の事例も含 めて5館の事例を調査し、結果をまとめ た	C	事例調査について2024( R6) 年度に調査 をまとめ、報告する。 以降、1年ごとに計画をずらす。
2-( 2) 10-1	2 生・ ( 中 2) 学 生 小 学	読書に困難を感じている 子どもの支援	ニーズやサービス内容について、調査研究を行います。 サービス方針及び資料収集方針を立案し、サービス を実施します。	マルチメディアDAI SYや布 絵本の所蔵、提供等につ いて、事例調査及び研究 を行う。	障がい者サービス担当の前年度の調査結果等を確認 し、未調査の事項について調査を行い、12月までに 報告書をまとめる。	調査結果をもとに、障がい者サービス 担当とマルチメディアDAI SY及びバリア フリー資料の収集方針案等の検討を 行った。マルチメディアデイジーにつ いては、検討結果をもとに、今後の収 集・ 提供計画の案を作成した。	B	

図書館サービス計画の令和4年度事業計画の結果

成田市立図書館

評価 A 達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある。 B 達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである。C 達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある。D 未実施。E: 方向転換。

通番		検討する事項	取組内容	2022( R4) 実施目標	2022( R4) 達成基準	結果	評価	次年度以降の計画の修正等について
2-( 2) 12-1	学( 2 ) 学生 2 2 生 ( ) 中小	子どもの居場所としての取組	関係各課と連携し、学校と家庭以外で子どもたちが安心して居られる場所として、図書館が利用できるように環境を整えます。	視察先を選定する。	・ 先進事例について調査を行い、10月末までに視察先を選定する。	子どもの居場所の取組事例について、6館の事例を調査した。	C	遅延しているが、2022( R4) 年3月までに作業終了の見込み。
2-( 2) 13-1	2 生 ( ) 中 2 学生 2 小学	学校図書館の支援	今後も団体貸出を継続します。	継続実施	・ 団体貸出を継続実施する。	市内の小学校・中学校・義務教育学校に向けて団体貸出を継続実施した。 ※各学校に利用カード更新の案内を送付し、6月までに全校の更新手続きを終了した。 11月末時点の貸出冊数: 1, 121冊( 昨年度: 981冊)	B	
2-( 2) 13-2	学( 2 ) 学生 2 2 生 ( ) 中小	学校図書館の支援	団体貸出等図書館資料の配送体制の整備について、調査研究を行い、実施を検討します。	学校図書館との団体貸出等図書館資料の配送体制整備について先行事例を研究する。	・ 先進図書館の調査を行い、12月までに中間報告を行う。	事例の収集を行ったが、12月までに調査報告をまとめることができなかった。	D	事例調査について、2023( R5) 年度に再調査、2024( R6) 年度に調査をまとめ、報告する。
2-( 2) 14-1	学( 2 ) 学生 2 2 生 ( ) 中小	学校図書館司書等合同研修会の開催	今後も実施を継続します。 学校図書館司書の要望等を踏まえ、内容を検討します。	継続実施	・ 学校図書館司書、司書教諭等を対象とした研修会を継続実施する。	11月16日( 水曜日)に「令和4年度学校図書館司書等及び市立図書館司書合同研修会」を実施し、39名が参加した。	B	
2-( 3) 1-1	2 ( ) 年 3 青少	ヤングアダルトコーナーの新設	ヤングアダルト向けの資料と独立したスペースの確保、コーナーの設置を行います。	YAサービスの計画を立案する。	・ 12月までにYAサービスの計画を立案する。	YAサービスの方向性を、案としてまとめた。サービス計画の方向性をコンセプトに落とし込み、案を修正する。 2022( R4) 年1月に設置案、コンセプト案をそれぞれ修正し、2・3月中に確認・校正作業を行い、2022( R4) 年度中に完成見込み。	C	10年計画記載の公津の杜分館のヤングアダルトコーナーの設置は1度保留とし、本館の計画作成から実施する
2-( 3) 2-1	2 ( ) 年 3 青少	ヤングアダルト向け資料の収集	ヤングアダルト サービスについて調査研究を行い、資料の選定収集を行います。	YAサービスの計画を立案する。 書棚の構成バランスや、資料の選定基準について方針を定める。	・ 12月までにYAサービスの計画を立案する。	YAサービスの方向性を、案としてまとめた。サービス計画の方向性をコンセプトに落とし込み、案を修正する。 2022( R4) 年1月に設置案、コンセプト案をそれぞれ修正し、2・3月中に確認・校正作業を行い、2022( R4) 年度中に完成見込み。	C	遅延しているが、2022( R4) 年3月までに作業終了の見込み。
2-( 3) 2-2	2 青( ) 少年 3	ヤングアダルト向け資料の収集	ヤングアダルト サービスについて調査研究を行い、資料の選定収集を行います。	YAサービスの計画を立案する。 書棚の構成バランスや、資料の選定基準について方針を定める。	・ 書棚の構成バランスについて、先進的な図書館を対象に調査を行い、12月までに中間報告を行う。	他図書館の蔵書のうちのYA向け資料の割合や、資料購入費のうちのYA資料購入費の割合、YA資料の構成バランス等を調査することができた。	B	
2-( 3) 2-3	2 青( ) 少年 3	ヤングアダルト向け資料の収集	ヤングアダルト サービスについて調査研究を行い、資料の選定収集を行います。	YAサービスの計画を立案する。 書棚の構成バランスや、資料の選定基準について方針を定める。	・ 資料の選定基準について、7月までに暫定版を作成し、試用する。	「ヤングアダルト 資料収集方針( 仮) 」として、資料収集に関わる方針と分類ごとの収集基準を作成した。	B	
2-( 3) 4-1	2 ( ) 年 3 青少	ブックリスト配布	ヤングアダルト向けのブックリストを作成し、市内学校等への配布、ホームページでの公開を行います。	YAサービスの計画を立案する。	・ 12月までにYAサービスの計画を立案する。	YAサービスの方向性を、案としてまとめた。サービス計画の方向性をコンセプトに落とし込み、案を修正する。 2022( R4) 年1月に設置案、コンセプト案をそれぞれ修正し、2・3月中に確認・校正作業を行い、2022( R4) 年度中に完成見込み。	D	遅延しているが、2022( R4) 年3月までに作業終了の見込み。2023( R5) 年度にブックリストの作成に着手する。
2-( 3) 5-1	2 ( ) 年 3 青少	イベント、講座	イベント、講座の実施を検討します。	ヤングアダルト向けのイベントについて事例の調査研究を行う。	・ 国内他館の事例調査を行い、12月までに報告書をまとめる。	国内、国外の様々なヤングアダルト向けのイベントについて情報を得ることができた。 「学生のための日本経済新聞の読み方講座」を実施した。会場30名、Zoom最大11名の参加があった。また、ボランティアは21名の参加があった。	B	
2-( 3) 8-1	2 青( ) 少年 3	メディアリテラシー向上の支援	事例の調査研究を行います。	( 2年間計画/2年目) 事例の調査研究を行う。	・ 国内他館の事例調査を行い、12月までに報告書をまとめる。	メディアリテラシー向上の支援に向けた、他図書館の取組みについて情報を得ることができた。	B	

図書館サービス計画の令和4年度事業計画の結果

成田市立図書館

評価 A 達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある。 B 達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである。C 達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある。D 未実施。E 方向転換。

通番		検討する事項	取組内容	2022( R4) 実施目標	2022( R4) 達成基準	結果	評価	次年度以降の計画の修正等について
2-( 4) 1-1	2 成 人 ( 4)	蔵書の構築	幅広い情報を、多様なメディアで収集します。蔵書構成や書架の全体的な見直しを検討します。視聴覚資料の積極的な収集に努めます。展示等により、資料紹介を行います。	継続実施	※1. 図書館の基本的なサービスの項目に掲載	※1. 図書館の基本的なサービスの項目に掲載	-	
2-( 4) 2-1	成 人 ( 4) 2	貸出・レファレンス等のサービス提供	貸出・閲覧サービスを継続して実施します。レファレンスサービスを継続して実施します。	継続実施	※1. 図書館の基本的なサービスの項目に掲載	※1. 図書館の基本的なサービスの項目に掲載	-	
2-( 4) 3-1	成 人 ( 4) 2	利用促進	広報活動等により利用促進を図ります。	継続実施	※1. 図書館の基本的なサービスの項目に掲載	※1. 図書館の基本的なサービスの項目に掲載	-	
2-( 4) 4-1	成 人 ( 4) 2	データベース提供の拡充	公津の杜分館でのデータベースの提供を進めます。	継続実施	継続実施 詳細は第4章3.( 2)【ビジネス支援】( 3)【法情報】に記載	継続実施 詳細は第4章3.( 2)【ビジネス支援】( 3)【法情報】に記載	-	
2-( 5) 1-1	2 ・ 齢 者 ( 5) 高	資料の収集、提供	大活字本、朗読CD等を継続して収集します。	継続実施 大活字本及び朗読CDの収集方針を立てる。	・大活字本、朗読CD等を継続して収集する。	【大活字本】11月30日現在、リストの回覧を行っている。12月中に選定を行い、年度内に購入見込み。【朗読CD】11月30日現在、リストの回覧を行っているが、購入の見通しが立っていない状況である。	C	朗読CDについては、MARC問題の整理が必要であり、来年度は課題点整理を行う。既存業者(トッカータ)で対応可能分を購入する。
2-( 5) 1-1	2 ・ 齢 者 ( 5) 高	資料の収集、提供	大活字本、朗読CD等を継続して収集します。	継続実施 大活字本及び朗読CDの収集方針を立てる。	・昨年のアンケートを基に、同規模で大活字本や朗読CDを収集している図書館に調査を行い、前年度の調査と合わせて12月までに報告書をまとめる。	調査を行ったが、大活字本や朗読CDの提供は図書館サービスとして一般的なものとなっており、先進事例と言えるものはなかった。資料を提供していく中で、利用者のニーズに合った蔵書構築をしていく。	B	先進館と呼べる館がないことが調査結果であり、今後は自館でMARC、発注、装備の問題を解決していくこととし、調査は終了とする。2-5-1-1と同様の課題となるため、2022( R4) 年度でこの課題は終了とする。
2-( 5) 1-3	2 ・ 齢 者 ( 5) 高	資料の収集、提供	電子アプリ等を利用したオーディオブックの導入を検討します。	オーディオブックコンテンツの事例の調査研究を行う。	・公共図書館向けのオーディオブックサービスを提供している業者を調査し、12月までに報告書をまとめる。 実施計画のローリングに計上する。	調査は実施したが、課内での調整の結果、ローリングに計上できなかった。	E	オーディオブックコンテンツは現在1社が提供しており、複数ベンダーがそれぞれ特徴をもった形態で販売していることから、2024( R6) 年度以降に導入時期の見直しを検討する。また、予算額や購入点数等について、検討する。
2-( 5) 2-1	2 ・ 者 ( 5) 高 齢	高齢者施設等との連携	高齢者施設等へのニーズ調査を検討します。	市内施設へのニーズ調査を実施し、検証した報告書をまとめる。	・「高齢者施設等との連携調査」の調査を実施し、2023( R5) 年度に行う高齢者施設等へのニーズ調査に関するアンケートの素案を作成する。	現在調査済みは2館である。2022( R4) 年12月末までに県内1館、県外2館を調査し調査の内容を基に2月末までに、アンケートの素案を作成する見込み。	C	市内施設へのニーズアンケート 調査を実施する。
2-( 5) 2-2	2 ・ 者 ( 5) 高 齢	高齢者施設等との連携	連携方法について調査研究を行います。	高齢者施設と連携を行っている図書館の連携方法について、事例を調査する。 ( R4)	・高齢者施設と連携している図書館へ事例調査を行い、12月までに報告書をまとめる。	現在調査済みは1館である。2022( R4) 年12月末までに、県内2館、県外2館調査し、報告書にまとめる見込みである。	C	アンケートの結果を報告書にまとめる。
2-( 5) 2-3	高 ・ 齢 者 ( 5) 2	高齢者施設等との連携	連携方法について調査研究を行います。	高齢者施設と連携を行っている図書館の連携方法について、事例を調査する。 ( R4)	・アンケートの素案を作成する。	2-( 5) -2-2の報告書まとめまでで、アンケートの素案作成はできなかった。	D	アンケート作成についての研究については、引き続き継続すること。
2-( 5) 3-1	( 5) ・ 者 ( 5) 高	来館困難者へのサービス提供	事例の調査研究を行います。	他市町村におけるサービス事例調査研究を行う。	・県内の図書館へサービスの詳細を調査する。また、県外の先進的な事例を調査し、12月までに報告書をまとめる。	医療・健康情報コーナーの設置を今年度中に行うため、次年度以降に実施する。	E	医療情報コーナーの整備を優先し、来年度中に実施スケジュールの再検討を行う。
2-( 5) 4-1	齢 者 ( 5) ・ 高	生涯大学院、明治大学・成田社会人大学等との連携	ニーズ調査を実施します。	事例調査及び研究を行う。協力を得られる機関を調査する。	・前年度の調査に加え、生涯大学等と連携している図書館の事例調査を行い、当館で実施可能なサービスを検討し、12月までに報告書をまとめる。	医療・健康情報コーナーの設置を今年度中に行うため、次年度以降に実施する。	E	医療情報コーナーの整備を優先し、来年度中に実施スケジュールの再検討を行う。
2-( 5) 4-2	齢 者 ( 5) ・ 高	生涯大学院、明治大学・成田社会人大学等との連携	出張図書館等の連携事業を検討します。	他市町村におけるニーズ調査を行う。	・事例及びサービスの利用状況を調査し、12月までに報告書をまとめる。	医療・健康情報コーナーの設置を今年度中に行うため、次年度以降に実施する。	E	医療情報コーナーの整備を優先し、来年度中に実施スケジュールの再検討を行う。

図書館サービス計画の令和4年度事業計画の結果

成田市立図書館

評価 A 達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある。 B 達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである。C 達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある。D 未実施。E 方向転換。

通番		検討する事項	取組内容	2022( R4) 実施目標	2022( R4) 達成基準	結果	評価	次年度以降の計画の修正等について
2-( 5) 5-1	2 ・ 齢 者 5 ) 高	高齢者の生きがいを支える情報提供、学習支援	事例の調査研究を行います。	高齢者向けのミニ展示を行う。	・認知症や定年後の生活をテーマにしたミニ展示を年に4回実施する。	※11月末現在 9月:「認知症を知る-認知症とともに生きていくために」 11月:「やさしい介護」 12月:実施予定 2月:実施予定	B	
2-( 6) 1-1	2 ・ が 6 い の 図 書 館 人 利 用 に 障	録音図書の製作	今後も録音図書の製作を継続します。	継続実施 職員の負担軽減、作成マネジメントの見直しを図る。	・録音図書の製作を継続実施する。	2021( R3) 年度から継続して製作している資料を含め、11月30日までに28タイトルの録音図書の製作に着手している。予算要求は25冊だが、年度内の完成は20冊相当となる見込み。それ以外に、利用者からの依頼で、絵本と児童書計12冊を、利用者の指定するスタイルで録音し、提供しているが、音訳者の人数が減っており製作が予定より進まなかった。	C	製作点数の見直しを実施する。
2-( 6) 1-2	に図2 あ障書・ るが館(6 人い利 の用	録音図書の製作	今後も録音図書の製作を継続します。	継続実施 職員の負担軽減、作成マネジメントの見直しを図る。	・9月までに、昨年度の作成マネジメントの効果を分析し、新規録音図書作成マネジメントの見直しを行い、12月までに報告書をまとめる。	当館では作業の効率化をはかりつつ、職員による確認作業を続けていく方針でマネジメントの見直しを行った。	B	
2-( 6) 1-3	に図2 あ障書・ るが館(6 人い利 の用	録音図書の製作	所蔵するカセット資料のDAI SY図書への変換作業を継続します。	継続実施 次年度以降の計画書を作成する。	・カセット資料のDAI SY図書への変換作業を継続実施する。	21タイトルの委託を実施した。年度内に完成し、新たに図書館資料として受入れをする予定である。	B	
2-( 6) 1-4	利2 用・ ( る障6 人が い図 の書 あ館	録音図書の製作	所蔵するカセット資料のDAI SY図書への変換作業を継続します。	継続実施 次年度以降の計画書を作成する。	・9月までに、カセット資料のDAI SY化の見直しを行い、計画書を作成する。	カセットからのデジタル化について、千葉県図書館および全国視覚障害者情報提供施設協会(全視情協)の協力を得られることになったことと、DAI SY化に必要な原本のないカセットがあることを踏まえ、2021( R3) 年度に立てた計画の見直しを行った。	B	
2-( 6) 2-1	に図2 あ障書・ るが館(6 人い利 の用	マルチメディアDAI SYの収集、提供	収集方針、収集・提供方法を検討します。	収集方針、収集・提供方法について案を作成する。	・12月までに、マルチメディアDAI SY収集の方法について調査し、報告書をまとめる。	昨年度行った入手方法についての追加調査や現在のマルチメディアDAI SY所蔵状況の調査を実施し、調査結果を報告書にまとめた。	B	
2-( 6) 2-2	に図2 あ障書・ るが館(6 人い利 の用	マルチメディアDAI SYの収集、提供	収集方針、収集・提供方法を検討します。	収集方針、収集・提供方法について案を作成する。	・マルチメディアDAI SYの収集・提供について計画を作成する。	収集方法調査結果をもとに、児童担当とマルチメディアDAI SYの収集方針の検討を行った。検討結果をもとに、今後の収集・提供計画の案を作成した。	B	
2-( 6) 3-1	が書2 い館・ の利(6 あ用 るに 人障図	音訳協力者の養成	今後も音訳協力者養成講座を継続して実施します。	継続実施 (3年間計画/1年目) 新規音訳協力者養成講座を企画・立案・実施する。	・音訳者養成講座を継続実施する。	DAI SY編集初心者講習会(全2回)実施済 録音図書製作に必要な音訳処理技術について(全3回)2023( R5) 年2月開催予定	B	2-( 6) 3-1と2-( 6) 3-3は同じ内容(養成講座の継続実施)の達成基準であったため、次年度は統合する。
2-( 6) 3-2	2 に・ 障 が6 い の 図 書 館 人 利 用	音訳協力者の養成	今後も音訳協力者養成講座を継続して実施します。	継続実施 (3年間計画/1年目) 新規音訳協力者養成講座を企画・立案・実施する。	・1月までに、今後の障がい者サービスの方向性を含め、既存の講座を見直し、新規音訳協力者養成講座の実施計画(2024( 令和6) 年度から2年間)を作成する。	来年度の講座については3名の講師に依頼を行い、予算を計上した。また、声の広報発行を担当している社会福祉協議会とも連絡をとり、連携して講座を行うことで音訳経験者に図書館での音訳について関心をもってもらうことができないかの検討を行った。	C	計画の作成を2023( R5) 年度に実施することとし、にさらに1年計画をずらす。

図書館サービス計画の令和4年度事業計画の結果

成田市立図書館

評価 A 達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある。 B 達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである。C 達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある。D 未実施。E: 方向転換。

通番		検討する事項	取組内容	2022( R4) 実施目標	2022( R4) 達成基準	結果	評価	次年度以降の計画の修正等について
2-( 6) 3-3	が書 2 い館・ の利 (6) あ用 (6) るに 人障図	音訳協力者の養成	今後も音訳協力者養成講座を継続して実施します。	継続実施 ( 3年間計画/1年目) 新規音訳協力者養成講座 を企画・立案・実施す る。	・音訳協力者のレベルアップのための講座を5回実施 する。	2-( 6) 3-1と同様 DAI SY編集初心者講習会( 全2 回) 実施 済 録音図書製作に必要な音訳処理技術に ついて( 全3回) 2023年2月開催予定	B	2-( 6) 3-1と2-( 6) 3-3は同じ内容( 養 成講座の継続実施) の達成基準であった ため、次年度は統合する。
2-( 6) 4-1	館 2 の用 (6) あに (6) る障 人 が図 い書	資料の収集、提供	点字図書、さわる絵本、大活字本、オーディオブック、LLブック、布絵本等を収集、提供します。	( 2年間計画/1年目) 点字図書、大活字本、LL ブックの収集方針を立案 する。オーディオブック コンテンツの再調査をす る。各高齢者担当と協議 し方針を定める。	・昨年度に引き続き、高齢者担当、児童担当と協議 し、点字図書、大活字本、LLブックの収集方針を調 査し、12月までに報告書をまとめる。	バリアフリー資料の当館の所蔵及び利 用状況を調査し、収集方針案の検討を 行った。	C	計画の作成を2023( R5) 年度に実施する こととし、にさらに1年計画をずらす。
2-( 6) 5-1	に図 2 あ障書・ るが館 (6) 人利 (6) いの用	配送貸出サービス	今後も継続して実施します。	継続実施 サービス対象者の見直し をする。	・配送貸出サービスを継続実施する。	これまでの利用者2名に加え、4名の新規 登録があり、10月末までの統計で63 冊の利用があった。	B	
2-( 6) 5-2	利 2 用・ (6) に (6) る障 人 が い図 の書 あ館	配送貸出サービス	今後も継続して実施します。	継続実施 サービス対象者の見直し をする。	・調査結果をもとに心身障害者用ゆうメールについ て調査を行い、導入を検討し2023( R5) 年度の導入 を目指す。	2021( R3) 年度調査で不十分であった 利用条件について、郵便局に再度確認 を行い、実施要綱案を作成した。 要綱案作成後、内部規則で実施する か、例規改正が必要かの確認が必要と なったため、担当課に確認を行い再度 案を検討中。	C	要綱で対応する方向で再度、実施要綱案 の検討を行う。心身障害者用ゆうメール については他館でも利用実績が少なく、 現状では当館利用者からの利用希望も受 けていないことから、配送貸出規定の見 直しと一緒に改めて検討を行っていく。
2-( 6) 6-1	に図 2 あ障書・ るが館 (6) 人利 (6) いの用	サインのバリアフリー化	事例やガイドライン等の調査研究を行います。	事例調査及び研究を行 う。	他館のサインのバリアフリー化の事例調査を行い、 12月までに報告書をまとめる。	図書館向けピクトグラムについて情報 収集をした。また、それらのピクトグ ラムを活用し、紹介している図書館に ついて調査を行った。	C	インターネットによる事例調査の実施し かできなかったため、追加で文献調査・ 聞き取り調査等を実施し、参考事例を集 める。
2-( 6) 7-1	が書 2 い館・ の利 (6) あ用 (6) るに 人障図	サービスの広報	今後も対象者への利用案内の送付等を継続します。	継続実施	対象者への利用案内の送付を継続実施する。	広報なりたで録音図書についての記事 を掲載した。既存の利用者に昨年度に 新規製作した録音図書目録を送付し た。新規転入者への利用案内送付は3月 に行う予定である。	B	
2-( 6) 9-1	に図 2 あ障書・ るが館 (6) 人利 (6) いの用	施設・設備のバリアフリー化	必要な設備を調査し、施設のバリアフリー化を図ります。	事例調査及び研究を行 う。	他館の施設・設備のバリアフリー化の事例調査を行 い、12月までに報告書をまとめる。	成田市立図書館のバリアフリー設備の 実態および、先進的図書館について調 査を行った。本庁舎で導入済の設備等 も調査を行った。	C	継続して調査を行い、大規模改修の範囲 外で可能なバリアフリー化について対応 優先順位リストを作成する。
2-( 6) 10-2	に図 2 あ障書・ るが館 (6) 人利 (6) いの用	合理的配慮の提供の推進	館内のサイン・案内等の改善を図ります。	事例調査及び研究を行 う。	館内のサインの改善案について報告書をまとめ、年 度内に館内サインの変更を行う。	館内の実態を調査し、リストを作成 中。	D	館内の実態調査が未着手であるため、調 査を行い、導入すべきサインの検討を行 う。
2-( 7) 1-1	2 多・ 文 (7) 化 (7)	多言語資料の収集	今後も収集を継続します。	・継続実施 ・丸善ベストセラー等、 現在の購入先以外の収集 手段について調査し、購 入する。	・多言語資料を継続して収集する。	ベストセラーリスト やおすすめ本を調 査して選定し、おおむね予定どおりの 執行ができています。11月末現在214冊を 受入済である。	B	
2-( 7) 1-2	2 ・ (7) 化 (7) 多 文	多言語資料の収集	今後も収集を継続します。	・継続実施 ・丸善ベストセラー等、 現在の購入先以外の収集 手段について調査し、購 入する。	・昨年度に引き続き、多言語資料の収集手段につい て調査し、購入手段を決定する。	現在購入しているルートに加え、昨年 の調査で他館の利用の多かった出版社 に連絡し、中国語と韓国語のリストを 送ってもらい、担当者が選定して発注 した。	B	購入手段決定について、経緯や事由をま とめる。



図書館サービス計画の令和4年度事業計画の結果

成田市立図書館

評価 A 達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある。 B 達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである。C 達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある。D 未実施。E 方向転換。

通番		検討する事項	取組内容	2022( R4) 実施目標	2022( R4) 達成基準	結果	評価	次年度以降の計画の修正等について
2-( 7) 1-3	2 ・ ( 化 7 多 文	多言語資料の収集	ニーズに沿った選定の方法を検討します。	利用状況について調査継続すると共に、多言語資料のMARCについて研究する。	・多言語資料MARCについて調査し、MARCの自館作成または受入方法について、12月までに報告書をまとめる。	委託しているMARCと自館作成しているMARCのデータ項目数を、他館と比較した。その結果データの精度及び作業効率の観点から今後も委託装備を行う。	C	TRCで対応していない言語のMARC調査が不十分であるため、2023( R5) 年度に調査を行う。以降1年ずつ計画をずらす。
2-( 7) 1-4	2 ・ ( 化 7 多 文	多言語資料の収集	電子書籍での多言語資料の提供について、検討します。	多言語資料の提供・選書基準について、検討する。	電子書籍での多言語資料の選書基準を定める。	多言語の電子書籍の選書基準は、すべての電子書籍の選書基準の中に含む形で、とりまとめを行っている。	D	次年度も継続して実施する。 ※第4章1図書館の基本的なサービス1-1-4と連動。
2-( 7) 2-1	2 ・ ( 化 7 多 文	多文化理解に役立つ資料の収集、提供	今後も収集を継続します。	継続実施	・多文化理解に役立つ資料を継続して収集する。	日本文化等関連書籍25冊について選定し発注した。	B	
2-( 7) 3-1	2 ・ ( 化 7 多 文	日本語学習、検定資料の収集、提供	今後も収集を継続します。	継続実施	・日本語学習、検定資料を継続して収集する。	英語と他の言語が併記されている資料について、複本購入し、各言語に分類して、利用しやすいように工夫した。書き込み式についても、昨年の見計らいの結果を受けて購入対象とした。日本語学習関連書籍68冊を発注した。	B	
2-( 7) 3-2	多 文 ( 化 7 2 ・	日本語学習、検定資料の収集、提供	選定方法を見直し、購入手法を検討します。	日本語学習、検定資料の選定・受入方法の見直しを行う。	・資料の利用状況について継続調査し、12月までに取りまとめ、見直しに沿った選定・受入方法を実施する。	多言語資料の分類別利用調査を行った。	C	どのような見直しをしたか等調査を継続し次年度報告する。
2-( 7) 4-1	多 文 ( 化 7 2 ・	利用しやすい環境の整備	英語以外の言語の利用案内を作成し、配布します。	案内が必要な言語について調査する。他機関での事例を調査する。	・中国語の利用案内を作成する。	各言語の翻訳について、作成可能な業者やボランティアを調査・依頼中である。	E	どの言語を優先して作成するか再調査を行う。
2-( 7) 4-2	2 ・ ( 文 7 化 7 多	利用しやすい環境の整備	英語以外の言語の利用案内を作成し、配布します。	案内が必要な言語について調査する。他機関での事例を調査する。	・他館の事例等について継続調査を行い、12月までに報告書をまとめる。	各言語の翻訳について、作成可能な業者やボランティアを調査・依頼中である。	E	どの言語を優先して作成するか再調査を行う。
2-( 7) 4-3	2 ・ ( 化 7 多 文	利用しやすい環境の整備	やさしい日本語の利用案内の作成を検討します。	( 2年間計画/2年目) やさしい日本語の利用案内について、先行事例や必要性を研究する。	・昨年度に引き続き、やさしい日本語の利用案内について調査し、12月までに報告書をまとめる。	やさしい日本語の利用案内を発行している図書館からサンプルを収集した際に、ひな型を配布している団体が含まれていたため、利用条件について確認を行った。	B	
3-( 1) 1-1	康 情・ 1 3 報 医 療 健	蔵書の構築	医療の進歩に留意し、信頼性の高い資料を収集します。	( 2年間計画/1年目) 収集方針の改訂あるいは、選書方法の見直しを行う。	・収集方針の改訂案を作成し、資料部会で検討する。	「健康・医療情報資料収集方針(案)」を作成した。	B	
3-( 1) 1-2	康 情・ 1 3 報 医 療 健	蔵書の構築	医療の進歩に留意し、信頼性の高い資料を収集します。	( 2年間計画/1年目) 収集方針の改訂あるいは、選書方法の見直しを行う。	・選書方法の検討のため、複数の医療系出版社から出版リストを取寄せて、グループ内で回覧する。	出版社の選定を行った上、12~1月でリストの回覧および資料の選定を行い、年度内に資料の発注を行う。	B	
3-( 1) 2-1	康 3 ・ 医 ( 1 療 1 情 報 健	利用者がアクセスしやすい書架の整備	サービスガイドラインを策定し、コーナーの設置を検討します。	サービスガイドラインを策定する。	サービスガイドラインを12月までに策定する。	先進図書館の事例を調査し、案を作成し、館内で検討し、策定した。	B	今年度で事業取組完了

図書館サービス計画の令和4年度事業計画の結果

成田市立図書館

評価 A 達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある。 B 達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである。C 達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある。D 未実施。E 方向転換。

通番		検討する事項	取組内容	2022( R4) 実施目標	2022( R4) 達成基準	結果	評価	次年度以降の計画の修正等について
3-( 1) 2-1	康 ・ ・ 医( 1) 療 情 報 健	利用者がアクセスしやすい書架の整備	関係機関等の情報をコーナーに排架し、提供します。	2023( R5) 年度に資料収集、コーナー設置、2024( R6) 年度に収集方法を検討するとなっているが、2022( R4) 年度に1年前倒しする。	医療棚を設置し、そこに排架提供する。	書架配置計画を立て、関係機関からの資料収集を行い、提供可能予定	A	来年度から、1年度前倒しで、資料収集方法の検討を行うこととする。
3-( 1) 2-1	3 ・ ( 1) 情 報 健 康 ・ 医 療	利用者がアクセスしやすい書架の整備	信頼性の高い資料を入門から専門的な情報へと深めるように排架し、情報を求めている層に最適化した書架構成を検討します。	2023R5-2024R6で調査、2025R7-2026R8で大規模改修を想定した書架構成計画立案と10年計画では予定していたが、資料購入( 2021)、書架配置見込み( 2022) でできたため実施を5-6年前倒しする。	医療棚を設置し、信頼性を基にした排架を行う。	書架配置計画を立て、資料のエビデンスを基にした信頼性の有無から書架配置とがん情報、医療情報棚を設置予定	A	来年度は、資料更新を計画的にできるようにする。
3-( 1) 2-4	康 情・ 1 3 報 医 療 健	利用者がアクセスしやすい書架の整備	闘病記の排架方法や検索システム等、整備方針を定めて計画的に実施します。	( 3年間計画/2年目) 事例調査や視察を通して研究する。	・ 先進事例館から収集方針や整備方針を集め、12月までに報告書をまとめる。	10月から11月にかけて合計8館に聞き取りを行い、まとめを作成した。	B	
3-( 1) 2-5	康 情・ 1 3 報 医 療 健	利用者がアクセスしやすい書架の整備	闘病記の排架方法や検索システム等、整備方針を定めて計画的に実施します。	( 3年間計画/2年目) 事例調査や視察を通して研究する。	・ 昨年調査した先進事例9館のうち、1館以上視察の実施をする。	実施できなかった。	D	2023( R5) 年度に視察実施予定
3-( 1) 3-1	健 3 情・ ( 1) 報 医 療	講座、セミナーの開催	関係機関と連携し、健康・医療情報を扱う講座等を計画し、実施します。	継続実施	健康・医療情報の講座を開催する。	「夫が脳で倒れたら-社会復帰の記録-」をテーマとし、ライターの三澤慶子氏、映画評論家の轟夕起夫氏を講師に招いて講座を行なった。会場25名、Zoom最大12名の参加があった。	B	
3-( 2) 1-1	ビ 3 ジ・ ( 2) 援 ネ ス 支	蔵書の構築	ビジネスに役立つ多様な分野の資料を入門書から専門書まで広く収集します。	( 2年間計画/2年目) 蔵書研究、調査を行う。	・ ビジネス支援サービス研修に参加する。	11月末時点でオンライン研修2つに参加( 研修動画を視聴) した。今後12月から開催されるビジネス・ライブラリアン講習会に参加予定。	B	
3-( 2) 1-2	3 ・ ( 2) 援 ビ ジ ネ ス 支	蔵書の構築	ビジネスに役立つ多様な分野の資料を入門書から専門書まで広く収集します。	( 2年間計画/2年目) 蔵書研究、調査を行う。	・ 昨年度の研究資料をもとに、ビジネス書の選書基準、除籍基準を見直し、修正案について、12月までに報告書をまとめる。	選書基準については、選書基準の案を作成し、グループ内で検討中。2022( R4) 年度内に案をかため、資料部会で報告予定。 除籍基準については、グループ内で検討し修正案を作成したが、グループに留まらない全体に関わる修正となったため、今後他グループと調整しながら検討を継続することになった。	C	除籍基準については、全体で検討することとなったため、2022( R4) 年度で目標から外す。
3-( 2) 2-1	ジ 3 ネ・ ( 2) ス 支 援 ビ	データベースの整備	起業や農業活動等に有用なデータベースの導入を検討します。	実施計画に載せる。	・ 職員のデータベース研修の計画をたてる。	現在成田市立図書館で導入しているデータベースの研修「日経テレコン活用講座」をZoom開催した。職員6名が参加し、新規データベース選定の参考とすることができた。	B	
3-( 2) 2-2	3 ・ ( 2) ス 支 援 ビ ジ ネ	データベースの整備	起業や農業活動等に有用なデータベースの導入を検討します。	実施計画に載せる。	・ 新規のデータベース導入について検討し、必要に応じローリングに計上する。再調査が必要であれば、12月に報告書をまとめ、来年度のローリングに計上する。	データベースの契約内容や費用について追加調査を実施し、最終候補として2つのデータベースを選定した。なお、選定したデータベースはマーケティング関係のデータベースであり、他館での利用実績はあるが、当館では現在契約していない分野のものとした。	B	2023( R5) 年度に実施計画に載せるため、以降1年ずつ計画をずらす。
3-( 2) 3-2	ジ 3 ネ・ ( 2) ス 支 援 ビ	利用促進	ビジネス支援のための図書館活用法パンフレット作成を計画し、実施します。	( 2年間計画/1年目) PRチラシなど、どのような形式が適切か事例調査及び研究を行う。	・ 当館の資料、パンフレット等を掌握し、リスト化する。	当館の資料、パンフレット等を調査し、リストを作成した。ビジネス情報に関連した主な配布物はレファレンスサービスの利用案内やパスファインダー等の3点であった。	B	

図書館サービス計画の令和4年度事業計画の結果

成田市立図書館

評価 A 達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある。 B 達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである。C 達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある。D 未実施。E 方向転換。

通番		検討する事項	取組内容	2022( R4) 実施目標	2022( R4) 達成基準	結果	評価	次年度以降の計画の修正等について
3-( 2) 3-3	3 ・ ジ ネ ス 支 援 ビ	利用促進	ビジネス支援のための図書館活用法パンフレット作成を計画し、実施します。	( 2年間計画/1年目) PRチラシなど、どのような形式が適切か事例調査及び研究を行う。	・ 他館調査( 前年度分) の資料より具体案を企画し、サンプル( 具体案) を作成する。	他館のパンフレットを参考としながら、参考資料室の専門書やデータベース、開設予定のコーナー紹介等を掲載するパンフレット案( サンプル) を作成した。	B	
3-( 2) 4-1	3 ・ ビ ジ ネ ス 支 援	利用者がアクセスしやすい書架の整備	それぞれの専門的分野の資料を集中して排架する方法を計画し、実施します。	( 3年間計画/2年目) コーナーの設置や排架方法など、事例調査及び研究を行う。	・ 昨年度調査した先進図書館の事例をもとに、コーナーづくりのシミュレーションをおこない、具体案をまとめる。	設置場所や設置する本の方向性等について検討を行い、コーナーづくりの具体案を作成した。	B	
3-( 2) 4-2	3 ・ ス 支 援 ビ ジ ネ	利用者がアクセスしやすい書架の整備	それぞれの専門的分野の資料を集中して排架する方法を計画し、実施します。	( 3年間計画/2年目) コーナーの設置や排架方法など、事例調査及び研究を行う。	・ パスファインダーについて、当館資料をリスト化し、追加するパスファインダーを検討する。	当館で現状提供しているパスファインダー及び他館のパスファインダーについて調査を行った。今後当館でパスファインダーを新規に作成する際の活用するため、他館のパスファインダーの種類と紹介資料についてはリスト化を行った。	B	
3-( 2) 5-1	3 ・ ジ ネ ス 支 援	講座、セミナーの開催	働く世代を支援する講座等を計画し、実施します。	継続実施	( 今年度は別分野の講座を実施予定)	( 今年度は別分野の講座を実施予定)	-	
3-( 2) 6-1	3 ・ ジ ネ ス 支 援 ビ	相談会の実施( 会場・資料提供)	事例調査及び研究を行います。	( 4年間計画/2年目) 先進図書館の事例調査をしつつ、講師とのコネクションや関係を構築する。	・ 調査を継続し、12月までに中間報告を行う。	他図書館11館の事例調査を行い、11月中旬に調査結果報告書を作成した。	B	
3-( 2) 6-2	3 ・ ス 支 援 ビ ジ ネ	相談会の実施( 会場・資料提供)	中小企業診断士等と協働し、起業相談会の開催を検討します。	( 4年間計画/2年目) 先進図書館の事例調査をしつつ、講師とのコネクションや関係を構築する。	・ 調査を継続し、12月までに中間報告を行う。	創業セミナーにおいて相談会開催の実績がある当市商工課にヒアリングを行い、無料で相談会を実施してくれる団体( 2団体) の紹介を受けた。各団体に連絡を行い、実施可能なセミナーや相談会についてヒアリングを行った。	B	
3-( 3) 1-1	3 ・ ( 3) 法 情 報	蔵書の構築	法情報に関する図書・雑誌資料のほか関係機関誌やパンフレット等、幅広い資料の収集に努めます。	( 3年間計画/2年目) 資料の収集対象や選書方法についてリーフレットなどの配置も含めて検討し、資料の見直しを行い、報告書をまとめる。	・ 法情報の資料について、リーフレット等の資料も含め、選書基準、除籍基準を見直し、修正案について、12月までに報告書をまとめる。	除籍基準については、グループ内で検討し修正案を作成したが、グループに留まらない全体に関わる修正となったため、今後他グループと調整しながら検討を継続することになった。選書基準については、他館調査を実施し、法情報資料については独立した選書基準を定めている図書館が見当たらなかった。リーフレット資料については、法テラス千葉より提供を受けられることがわかった。	C	除籍基準については、全体で検討することとなったため、2022( R4) 年度で目標から外す。
3-( 3) 2-1	3 ・ 報 ( 3) 法 情 報	データベースの整備	法情報調査に有用なデータベースを調査し、導入を検討します。	( 3年間計画/2年目) 事例調査を行い、有用なデータベースを調査する。バージョンアップまたは新規導入するデータベースを検討し、報告書をまとめる。	・ 事例調査を行い、有用なデータベースを調査する。バージョンアップまたは新規導入するデータベースを検討し、報告書をまとめる。	データベースの契約内容や費用について追加調査を実施し、現在当館で導入していない「特許・商標関係データベース」で有用な無料データベースを見つけることができた。	B	
3-( 3) 4-1	3 ・ 法 情 報 ( 3)	講座、セミナーの開催	ニーズ調査を実施します。	講座実施時に並行してニーズ調査を行う。	・ 昨年度アンケートにておこなったニーズ調査結果をもとに、調査を継続する。	昨年度の内容を改訂してより詳細な法律分野に関するアンケートを作成し、今年度も講座実施時に講座へのニーズ調査を実施した。	B	
3-( 3) 4-2	3 ・ 法 情 報 ( 3)	講座、セミナーの開催	データベースの使い方講座や、関連専門機関のセミナー等の図書館での開催を検討します。	継続実施	・ 法情報の講座を開催する。	「身近なトラブル」をテーマとし、法テラス千葉法律事務所弁護士を講師に招いて講座を行った。会場37名、Zoom最大17名の参加があった。	B	

図書館サービス計画の令和4年度事業計画の結果

成田市立図書館

評価 A 達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある。 B 達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである。C 達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある。D 未実施。E: 方向転換。

通番		検討する事項	取組内容	2022( R4) 実施目標	2022( R4) 達成基準	結果	評価	次年度以降の計画の修正等について
3-( 3) 5-1	3 ・ 情 報 3 法	関係機関へ、図書館の資料案内等の配布	市民向け相談窓口を設置している機関へニーズ調査を実施します。	講座実施時に並行してニーズ調査を行う( 継続調査)。	・ 法情報講座にて、アンケートによるニーズ調査を行い、12月に中間報告を行う。	法情報講座にて、アンケートによる関係機関に関するニーズ調査を行い、今後連携を行うことで効果が期待できる機関の調査を行うことができた。	B	
4-( 1) 1-1	4 ・ 1 地 域 資	地域資料の収集、提供	今後も、成田市を中心に、関連性の深い周辺地域を含めた歴史、地誌、民俗、芸術、文化及び産業等を記録した資料の収集を継続します。	継続実施 資料の収集を継続する。 行政資料の網羅的な収集を行う仕組みを検討する。	・ 継続して資料収集を行う。	・ 5月27日、全庁掲示板において市役所全体へ資料提供の通知を送信した。 ・ 冊子体及びチラシ、パンフレットや視聴覚資料等を取集し、装備等の作業をおこなった。 ・ 11月末時点で、資料発注中、データ装備中、製本装備中等の資料を除き、提供開始済資料は517点である。	B	
4-( 1) 1-2	4 ・ 1 地 域 資 料	地域資料の収集、提供	今後も、成田市を中心に、関連性の深い周辺地域を含めた歴史、地誌、民俗、芸術、文化及び産業等を記録した資料の収集を継続します。	継続実施 資料の収集を継続する。 行政資料の網羅的な収集を行う仕組みを検討する。	・ 網羅的な資料収集の方法等について先進事例を調査し、12月までに報告書をまとめる。	調査は未実施	D	2023( R5) 年度に県内各市町村における資料収集の方法について調査をする。
4-( 1) 1-3	4 ・ 1 地 域 資	地域資料の収集、提供	今後も、空港関係資料の収集を継続します。	継続実施	・ 電子化されている資料を含め、航空関係資料を継続して収集する。	継続し収集した。	B	
4-( 1) 1-4	4 ・ 1 地 域 資	地域資料の収集、提供	行政資料の収集を継続します。	継続実施	・ 担当課との昨年度の協働実績を踏まえ、行政資料を継続して収集する。	行政資料及び地域資料について、収集した。	B	
4-( 1) 2-1	4 ・ 1 地 域 資	地域資料のデジタル化	成田市関係新聞記事をデータベース化し、公開します。	継続実施 成田市関係新聞記事データベース公開作業の遡及入力を継続する。	・ 成田市関係新聞記事のデータベース化を継続し、公開する。	予定通り 作業完了見込み	B	
4-( 1) 2-2	4 ・ 1 地 域 資 料	地域資料のデジタル化	成田市関係新聞記事をデータベース化し、公開します。	継続実施 成田市関係新聞記事データベース公開作業の遡及入力を継続する。	・ 成田市関係新聞記事データベース過去の未入力分を全て完了させる。また、最新の市史研究46号に掲載されたデータを入力し公開する。	予定通り 作業完了見込み	B	事業取組完了
4-( 1) 2-3	4 ・ 1 地 域 資	地域資料のデジタル化	地域資料のデジタル化を進めます。	図書館システム導入に合わせて実施計画のローリング計上及び予算要求をする。	・ ローリング計上及び予算要求と併せ、デジタル化に向けて課題を整理し、12月までに報告書をまとめる。	『成田の地名と歴史』のデジタル化スキャン業務委託について予算要求し、2023年( R5) 年度予算計上予定となっている。	B	2023( R5) 年度スキャン作業し、データ整備を行う。
4-( 1) 2-4	4 ・ 1 地 域 資	地域資料のデジタル化	デジタル化した資料は、ホームページ上で公開を継続し、内容の充実を図ります。	デジタル化資料公開に向けた計画表を作成する。	・ デジタル化資料公開に向けて課題を整理し、12月までに計画表を作成する。	問題点整理中であり、公開に向けての計画表は未作成。	C	図書館システム更新が2023( R5) 年度から2024( R6) 年度になったことから、来年度2023( R5) 年度は課題整理とその対処法を館内で検討するところまでとする。

図書館サービス計画の令和4年度事業計画の結果

成田市立図書館

評価 A 達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある。 B 達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである。C 達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある。D 未実施。E 方向転換。

通番		検討する事項	取組内容	2022( R4) 実施目標	2022( R4) 達成基準	結果	評価	次年度以降の計画の修正等について
4-( 1) 3-1	4 ・ ( 1) 地域 資料	イベント、講座の開催	地域への理解、関心を深めることを目的とし、講座の実施を継続します。	継続実施	・ 地域に関連した講座を実施する。	以下の内容で講座を実施済み 演題：『中世北総の荘園・公領(国衙領)と人々の営み-印東庄内・埴生庄・大須賀保・遠山方御厨を中心に-』 講師：木村修 日時：2022(R4)年10月29日(土) 14:00-16:00 会場：成田市立図書館 2階視聴覚ホール 参加人数：62名参加	B	
4-( 1) 4-1	4 ・ ( 1) 資料 地域	展示の実施	収集した資料の活用、普及、提供のため、展示の実施を継続します。	継続実施 年度当初に計画票を作成し、計画的に実施する。	・ 展示を継続実施する。	計画表は未作成。現在展示準備中。	D	展示は必ず実施する。
4-( 1) 4-2	4 ・ ( 1) 資料 地域	展示の実施	収集した資料の活用、普及、提供のため、展示の実施を継続します。	継続実施 年度当初に計画票を作成し、計画的に実施する。	・ 計画に沿って、展示の更新をする。	計画表は未作成。現在展示準備中。	D	展示は必ず実施する。
4-( 1) 4-3	4 ・ ( 1) 資料 地域	展示の実施	収集した資料の活用、普及、提供のため、展示の実施を継続します。	継続実施 年度当初に計画票を作成し、計画的に実施する。	・ 7月までに、展示の計画書を作成し、12月までに報告書をまとめる。	計画表は未作成。現在展示準備中。	D	展示は必ず実施する。
4-( 1) 6-1	4 ・ ( 1) 地域 資料	市史の編さん、頒布	今後も成田市史研究の発行を継続します。今後の方向性を検討します。	( 3年間計画/1年目) 市史編さん事業の今後の在り方を検討する。	・ 他市町村の市史編さん事業の状況について、調査をする。	調査表作成済み	C	継続実施
4-( 1) 6-2	4 ・ ( 1) 料 地域 資	市史の編さん、頒布	今後も成田市史研究の発行を継続します。今後の方向性を検討します。	( 3年間計画/1年目) 市史編さん事業の今後の在り方を検討する。	・ 成田市史研究47号を発行する。	予定通り年度内発行見込み	B	
5-( 1) 1-1	( 1) 5 政 支 援 行	市職員への利用案内	新規採用職員研修において、行政課題解決のための図書館活用法を案内します。	継続実施	・ 新規採用職員研修を継続実施する。	4月7日に2022( R4) 年度新規採用職員向けの研修内で、図書館の活用法について講義形式で案内を実施した。	B	
5-( 1) 1-2	5 ・ ( 1) 行 政 支 援	市職員への利用案内	新規採用職員研修において、行政課題解決のための図書館活用法を案内します。	継続実施	・ 2022( R4) 年度成田市役所新規採用職員研修における図書館活用法案内の実施結果をまとめ、2023( R5) 年度の研修に向けて計画書を年度内に作成する。	11月30日に、2023( R5) 年度新規採用職員研修における案内実施について人事課に確認した。2023( R5) 年4月の実施に向け、年度内に計画書を作成する。	B	
5-( 1) 2-1	( 1) 5 政 支 援 行	行政向けレファレンスサービス	事例調査及び研究を行います。	行政向けレファレンスサービスの、周知方法について検討し、報告する。	・ 過去に実施した周知方法を整理し、他自治体の事例を調査し、12月までに報告書をまとめる。	調査対象や調査項目について決定できず、調査を行えなかった。	D	以降1年ずつ計画をずらす。
5-( 1) 2-2	5 ・ ( 1) 支 援 行 政	行政向けレファレンスサービス	有料データベース等ツールの広報やレファレンス事例の紹介を通じて利用の促進を図ります。	「市職員への利用案内」と連動し、図書館活用法案内に、有料データベース等のツールやレファレンス事例の紹介を盛り込むことを検討する。	・ 2023( R5) 年度の研修に向けた計画書に有料データベース等のツールやレファレンス事例について盛り込む。	2023( R5) 年度新規採用職員研修内での案内実施に向け作成している計画書に、データベース等のツールやレファレンス事例を盛り込む予定。計画書は年度内に完成見込み。	B	

図書館サービス計画の令和4年度事業計画の結果

成田市立図書館

評価 A 達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある。 B 達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである。C 達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある。D 未実施。E 方向転換。

通番		検討する事項	取組内容	2022( R4) 実施目標	2022( R4) 達成基準	結果	評価	次年度以降の計画の修正等について
5-( 1) 3-1	5 ・ ( 1) 援 行政支	行政支援としての図書館資料の貸出	市職員への図書館資料の貸出システムについて検討します。	物流の手段を、担当課と協議する。	・ 図書館システムの仕様書を作成する際に担当課と協議する。	総務課と打合せを行い、システム更新時期がずれ込むことにより、職員への貸出システムの導入も当初の予定より後ろ倒しになることを確認した。また、今後引き続き貸出システムの詳細について協議していくことを確認した。	E	システム更新を1年先送りするため、来年度以降の目標が1年ずつ先送りとなる。
5-( 3) 1-1	と 会 の 図 3 5 連 書 ) 携 室 議	議員へのレファレンスサービスの実施	レファレンスサービスを周知し、議員のレファレンスサービスの活用を促進します。	新議員の改選に伴う利用案内を検討する。	・ 新議員の利用案内について担当課と協議し方法を決定する。	2023( 令和5) 年度実施見込みのため、今年度は打合せ及び計画のみ( 実施計画表は現時点で作成不可)	B	
5-( 3) 1-2	図 5 書・ 室 ( 3) との 議 連 携 会	議員へのレファレンスサービスの実施	レファレンスサービスを周知し、議員のレファレンスサービスの活用を促進します。	新議員の改選に伴う利用案内を検討する。	・ 利用促進のためのPR方法を検討し、担当課と協議する。	議会事務局と協議の結果、議会図書室発行の「新着図書案内」の紙面にレファレンスサービスのPRをすることで合意した。現時点で、レファレンスの受付件数は2名で5件を受付済となっている。	B	
5-( 3) 1-3	議 5 会・ ( 3) の 図 書 室 連 携 室	議員へのレファレンスサービスの実施	議会図書室と連携し、議員への図書館資料の貸出について検討します。	物流の手順を担当課と協議する。	・ 文献等の資料の送付について担当課と協議をおこなう。	6月29日に担当課との協議をおこなった。図書館システム更新について、2024( R6) 年度に見送られたため、詳細事項は来年度以降再度調整となった。	E	システム更新を1年先送りするため、来年度以降の目標が1年ずつ先送りとなる。
5-( 3) 2-1	議 5 会・ ( 3) の 図 書 室 連 携 室	資料の整理・保存等の支援	議会図書室が所蔵する資料の整理を支援します。	( 3年間計画/2年目) 担当課と協議して議会図書室整理について方向性を検討する。	・ 議会図書室内の整理について、議会と協議を開始する。	6月29日に資料の整理について協議をおこなった。	B	
5-( 3) 2-2	5 ・ ( 3) の 議 連 携 会 図 書 室 と	資料の整理・保存等の支援	議会図書室が所蔵する資料の整理を支援します。	( 3年間計画/2年目) 担当課と協議して議会図書室整理について方向性を検討する。	・ 議会事務局や議員の意向等を聴取し、整理方法について計画を立てる。	6月29日に資料の整理について協議をおこなった。議会図書室の蔵書リストの整理をし、資料の整理をしていくことで合意した。	B	
5-( 3) 2-3	図 5 書・ 室 ( 3) との 議 連 携 会	資料の整理・保存等の支援	議会図書室と連携し、成田市議会の過去の議事録等の保存等を支援します。	( 3年間計画/2年目) デジタル化について担当課と今後のスケジュールについて協議を継続する。	・ 過去の議事録のデジタル化について、その方法や予算化について協議をおこなう。	6月29日に議会事務局と過去の議事録のデジタル化について協議をおこなった。今後過去の議事録を掲載するか局内でも協議予定であり、方針等について要検討とのことであった。	B	今後は過去分のデジタル化について協議していく。
5-( 4) 1-1	行 5 政・ ( 4) 資 料 室 連 携 室	連携方法についての研究	事例の調査研究を行います。	事例の調査研究を行う。担当課と今後の方針や課題について協議する。	・ 引き続き事例研究を継続する。	調査対象や調査項目を決定できず、調査を行えなかった。	D	以降1年ずつ計画をずらす。
5-( 4) 1-2	政 5 資 料 室 連 携 室 ( 4) との 行	連携方法についての研究	事例の調査研究を行います。	事例の調査研究を行う。担当課と今後の方針や課題について協議する。	・ 担当課と行政資料室の廃棄資料リストを確認し、歴史的資料などを拾い上げる。行政資料室の課題点について検討する。	総務課と打ち合わせを実施し、昨年度に引き続き行政資料室の廃棄資料リストを送付してもらうことを依頼した。また、行政資料室の課題点について共有した。	B	
5-( 4) 2-1	行 5 政・ ( 4) 資 料 室 連 携 室	行政資料室での行政支援としての図書館資料の貸出	市職員への図書館資料の貸出システムについて検討します。		※5.( 1) 行政支援の項目に掲載	図書館の端末の設置については総務課に確認を行った。図書館のシステム更新が1年先送りになったため、仕様については今後打ち合わせを実施予定。	E	図書館システム更新スケジュールによる。

図書館サービス計画の令和4年度事業計画の結果

成田市立図書館

評価 A 達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある。 B 達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである。C 達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある。D 未実施。E 方向転換。

通番		検討する事項	取組内容	2022( R4) 実施目標	2022( R4) 達成基準	結果	評価	次年度以降の計画の修正等について
6-1-1	6 ・ テ ム 算 シ ス	図書館電算システム、ホームページの維持管理・運用	( 図書館システム) システムの機能向上について検討します。ホームページの利便性向上を図り、マルチデバイス化を実施します。	予算要求 業者選定	・更新計画に基づいて仕様書を作成し、予算要求を行う。	2024( R6) 年3月のシステム更新に向け、業者見積をとり、予算要求を行ったが、財政課との協議により、現行システムの保守を1年延長して使用し、システム更新を1年先送りすることとなった。	E	システム更新を1年先送りするため、来年度以降の目標が1年ずつ先送りとなる。
6-2-1	テ シ ム ス 電	図書館電算システム、ホームページの維持管理・運用	( ホームページ) システムの機能向上について検討します。ホームページの利便性向上を図り、マルチデバイス化を実施します。	ホームページ更新計画策定	・ホームページの更新計画を、12月までに策定する。	10月から資料収集を開始し、11月から計画書の作成を開始した。12月中旬に完成見込み。	B	
6-2-1	テ シ ム ス 電	新たな技術の導入	電子書籍サービスを導入します。	収集方針の改定	・収集方針を12月までに改定する。	通番: 1-1-4と同様。	-	
6-2-2	シ 6 ス ・ テ ム 算	新たな技術の導入	本館、公津の杜分館への公衆無線LANを設置します。	予算要求	・更新計画に基づいて仕様書を作成し、予算要求を行う。	2022( R4) 年度のローリングにおいて、2024( R6) 年度予算で計上する予定となった。	E	2022( R4) 年度ローリングで、2024( R6) 年度予算で計上することとなったため、今年度の達成基準を翌年度に先送りとする。
6-3-1	6 ・ テ ム 算 シ ス	業務の効率化	機器の導入等により、業務の効率化を図ります。	予算要求	・更新計画に基づいて仕様書を作成し、予算要求を行う。	2024( R6) 年3月のシステム更新に向け、業者見積をとり、予算要求を行ったが、財政課との協議により、現行システムの保守を1年延長して使用し、システム更新を1年先送りすることとなった。	E	システム更新を1年先送りするため、来年度以降の目標が1年ずつ先送りとなる。
6-3-2	6 ・ テ ム 算 シ ス	業務の効率化	本館への自動返却仕分け機の導入を検討します。	予算要求	・更新計画に基づいて仕様書を作成し、予算要求を行う。	2024( R6) 年3月のシステム更新に向け、業者見積をとり、予算要求を行ったが、財政課との協議により、現行システムの保守を1年延長して使用し、システム更新を1年先送りすることとなった。	E	システム更新を1年先送りするため、来年度以降の目標が1年ずつ先送りとなる。
7-1-1	7 ・ 職 員 の 育 成	継続的な司書の確保と計画的な配置	継続的な司書の確保に努めます。司書の研修マニュアルを作成します。専門分野の習熟に必要な配置期間を確保します。	継続的な司書の確保に努める。 司書の研修マニュアルを作成する。 専門分野の習熟に必要な配置機関を確保する。	・司書の人員確保を計画的に人事課に要求する。	職員体制の維持を計画的に行うこと要求した。	B	市史編さん事業への司書配置や、係長以上職への配置について、司書実働数による職員数について資料作成していく。
7-1-2	7 ・ 職 員 の 育 成	継続的な司書の確保と計画的な配置	継続的な司書の確保に努めます。司書の研修マニュアルを作成します。専門分野の習熟に必要な配置期間を確保します。	継続的な司書の確保に努める。 司書の研修マニュアルを作成する。 専門分野の習熟に必要な配置機関を確保する。	・司書研修マニュアルを作成する。	研修資料は毎年度データ化して保存共有化している。日程についても毎年度データ化して保存共有化している。	B	新採職員員外、ステップアップ研修の館内実施を検討する。
7-1-3	7 ・ 職 員 の 育 成	継続的な司書の確保と計画的な配置	継続的な司書の確保に努めます。司書の研修マニュアルを作成します。専門分野の習熟に必要な配置期間を確保します。	継続的な司書の確保に努める。 司書の研修マニュアルを作成する。 専門分野の習熟に必要な配置機関を確保する。	・専門分野の習熟に必要な配置期間を確保する。	参考、地域資料、児童、障がい者サービス等専門性を必要な担当配置は計画的に行っている。	B	実働司書職員が減っており、サービスの質の維持が課題である。業務の見直しを進める。
7-2-1	7 ・ 職 員 の 育 成	職員の資質・能力の向上	長期的な研修計画を立てて、計画的な職員育成を図る。	計画的な職員育成を図る。	担当となった分野の研修に参加する。	ビジネスSG( ビジネスライブラリアン研修、データベース研修)、健康医療SG( 健康増進課開催研修、図書館総合展のセミナー) は担当分野研修に計画的に参加した。	B	外部の専門研修には継続して参加し、技能を磨いていく。
8-1-1	8 設 ・ 備 施 等 設 ・	施設の管理・運営	施設の計画的な修繕等の維持管理と、バリアフリーへの対応等、利用しやすい施設への改善に努めます。施設の管理・運営に関わるマニュアルを作成します。	予算計上している修繕、工事を計画的に実施する。発生した施設の修繕を予算内で計画的に執行する。	・予算計上している修繕、工事を計画的に実施する。	2022( R4) 年度予算に計上した修繕及び工事のうち、入札が不調となってしまった空調設備改修工事以外の案件については、概ね計画的な執行ができています。	B	
8-1-2	8 設 ・ 備 施 等 設 ・	施設の管理・運営	施設の計画的な修繕等の維持管理と、バリアフリーへの対応等、利用しやすい施設への改善に努めます。施設の管理・運営に関わるマニュアルを作成します。	予算計上している修繕、工事を計画的に実施する。発生した施設の修繕を予算内で計画的に執行する。	・発生した施設の修繕を予算内で計画的に執行する。	都度発生する施設の各種修繕について、予算の執行状況と優先順位を踏まえたうえで適宜対応している。	B	

図書館サービス計画の令和4年度事業計画の結果

成田市立図書館

評価 A: 達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある。 B: 達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである。 C: 達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある。 D: 未実施。 E: 方向転換。

通番		検討する事項	取組内容	2022( R4) 実施目標	2022( R4) 達成基準	結果	評価	次年度以降の計画の修正等について
8-5-1	8 ・ 施 等 設 ・ 設 備	危機管理能力の向上	図書館の危機管理マニュアルを作成し、体制を整備します。	危機管理マニュアルを作成する。	・ 地震災害時の職員対応マニュアルを策定する。	公民館が作成したマニュアルや関連する書籍、インターネットで収集した情報等を参考に案を作成し、12月の係長会議に提出して内容の確認を求めた。確認結果をもとに適宜修正を加え、年度末までには完成させる見込み。	B	